

# Labo NEWS

Aichi Association of Medical Technologists Report

2026

4

APRIL

## らぼニュース

### CONTENTS

- 巻頭言 令和8年度を迎えて … 1
- 地区だより(尾張東) …………… 2
- 日臨技中部圏支部研修会  
「臨床血液部門研修会」 ……… 3
- 執筆の紹介  
「検査と技術」第54巻 第2号  
(2月・増大号) …………… 5
- 愛臨技HP求人情報掲載について  
…………… 5
- メールアドレス登録のお願い … 5
- 研究会…………… 6
- 会員執筆物の紹介原稿募集 … 6

2026年3月1日現在 正会員数 3,995名

## 令和8年度を迎えて

公益社団法人愛知県臨床検査技師会

会長 藤田 孝

平素より、当会の事業活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和8年は災害級の大雪に見舞われる一方、2月から真夏日を記録する地域があるなど、寒暖差の激しく異常気象を意識せざるを得ない日々が続いておりましたが、桜の季節を迎えました。会員のみなさまにおかれましても年度替わりで慌ただしい毎日を過ごされているのではないかと思います。

令和8年度の当会事業活動は、令和7年度を踏襲しつつ臨床検査業務の拡大を推し進めるための臨床検査と臨床検査技師の質的向上を推進して参ります。各事業部業務および地区活動の強化、次世代役員の育成を主眼とする各部門、地区活動による組織強化も並行して進めて参ります。加えて、昨年度新たに発足させました「検査総合部門準備委員会」の活動も充実させ、会員の皆さまにテクニカル、ノンテクニカル両面での支援を強化して参ります。

一方、昨年度まで継続的に開催しておりましたタスク・シフト/シェア厚生労働大臣指定講習会は3月末で一区切りを迎えました。当会では積極的に講習会開催を展開し、多くの会員の皆さまに受講していただきました。今後は日臨技支部単位で開催回数を減らして継続開催することとなります。

当会は令和9年(2027)年に法人設立40周年を迎えることとなります。節目の年を迎えるに先立ち、秋に「法人設立40周年記念式典」および関連行事の開催を予定しておりますので、多くの皆さまのご参加をお願いいたします。

最後になりますが、令和8年度も事業計画に基づき、粛々とかつ確実に事業を進めて参ります。会員の皆様のご協力と積極的なご参加をお願い申し上げます。



愛知淑徳大学 健康医療科学部 医療貢献学科 臨床検査学専攻(定員40名)は、文部科学大臣指定医療関係技術者養成学校として2024年4月に開校致しました。

健康医療科学部は、医療貢献学科とスポーツ・健康医科学科の2学科6専攻からなり、医療貢献学科では、臨床検査学専攻以外に言語聴覚学専攻、視覚科学専攻、理学療法学専攻(2024年4月開校)の4専攻があり、生涯健康社会の実現に貢献することを基本理念に、各専攻の専門知識を活かし、地域や医療機関などで活躍できる人材を育成することを理念にしております。

2025年度現在、2年生まで約100名の学生が在籍し、スローガンとして「臨床検査の未来を学ぶー最先端の臨床検査学を学び、地域社会に貢献するー」を目標に掲げております。

現在、2年生においては、3年次から始まる卒業研究のためのゼミ選択や、医療関連企業への就職を意識したキャリアデザインの形成、3年後期に実施する臨床実習の準備など臨床検査技師として踏み出すための準備を進めております。

教員の構成は、血液学分野、免疫輸血学分野、一般検査学分野、遺伝子分野、生化学分野、病理学・組織学分野、生理学分野、臨床病態学分野を含めて総勢10名および非常勤講師で学生の教育指導を行っております。

学内の施設として、4つの実習室と各実習室に隣接した演習室・準備室を設置しており、その他として医療データ解析室、培養室、P2実験室、薬品庫なども設置しています。

臨床検査学専攻の特色として、多職種連携能力を養成するための『チーム医療概論』と『社会福祉・社会保障制度(多職種連携・地域包括ケア等を含む)』、先制医療および地域医療について学ぶ『先制医療検査学』と『地域医療検査学』、生殖補助医療技術を学ぶための『生殖補助医療学演習』、リサーチマインド(探究心)を育む『臨床検査学研究 I-IV』と『卒業論文』などがあります。

今後は、臨床検査技師としての社会人の基盤である「コミュニケーションの能力」を養成し、「豊かな人間性を持った臨床検査技師の育成」に教員一同、全力を注いでまいります。

臨床の現場でご活躍されている臨床検査技師の先生方におかれましては、どうぞ、愛知淑徳大学の臨床検査学専攻学生を厳しくも温かく見守っていただき、現場での臨床能力および社会人としてのスキルアップをご指導いただきたく、よろしくお願い申し上げます。



【解剖学(解剖組織学)実習】



【生理機能検査学講義】

\*\*\*\*\*

## 令和8年度 日臨技中部圏支部研修会

# 「臨床血液部門研修会」開催案内

\*\*\*\*\*

主催：(一社)日本臨床衛生検査技師会 中部圏支部  
実務担当技師会：静岡県臨床衛生検査技師会

**【テ ー マ】** 認定技師を目指して～形態の見方・考え方～

**【日 時】** 令和8年6月27日(土) 12:30～17:40  
28日(日) 9:10～12:30

※日臨技定時総会と日程が重なっているため、参加される方は事前に議決権行使をお済ませください。

**【場 所】** 静岡県産業経済会館 大会議室(静岡市)：静岡市葵区追手町44-1

**【定 員】** 120名(現地参加120名)

**【募集期間】** 令和8年3月1日～令和8年5月31日(定員になり次第、受付終了となります)

### 【日 程】

《1日目》 6月27日(土)

11:30～12:30 受付(会場内で飲食できますが、ゴミは持ち帰り)

12:30～ 開会式

12:40～ 講演1 『臨床に直結！見つけると役立つ、見逃すと困る血液検査所見(形態編)』  
講師：金沢医科大学病院 中央臨床検査部 大川 有希 技師

14:00～ 講演2 『変遷する国際分類の中で…MDSの異形成の捉え方』  
講師：川崎医療福祉大学 臨床検査学科 通山 薫 医師

15:50～ 講演3 『症例検討』  
講師：聖マリアンナ医科大学 ゲノムセンター 井本 清美 技師

1. グループワーク(30分) ※事前症例の初診時基本データ配布  
(グループで、必要な追加検査・確定診断に必要な事はどんな事があるか話し合う)

2. 症例解説※事前症例の初診時基本データ配布

17:40 1日目終了の挨拶と2日目の予定(二日目は、受付はしません)



## 『糖尿病のすべて。検査データに基づいた診療のポイント』

### 第5章「療養指導」検査結果の説明

夏目 久美子(岡崎市民病院)

「第5章 療養指導」の「検査結果の説明」を担当いたしました。糖尿病に関連する検査の結果を伝える際、患者さんが腑に落ちる説明を目指した内容です。

本書は、臨床検査技師はもちろんのこと、医師をはじめとする医療従事者に向けた構成となっております。周りの方々にも共有していただけますと幸いです。

医学書院「検査と技術」  
第54巻第2号(2月・増大号)  
2026年2月1日発行



### 愛臨技HP 求人情報掲載

愛臨技HPに臨床検査技師求人情報の掲載を始めました。

掲載を希望される会員は、愛臨技HP会員サイト内「各種手続き」,「求人掲載依頼」画面にて必要事項を入力、求人票登録をお願いいたします。

なお、求人掲載は施設会員のみとしますが、求人情報は会員以外でも閲覧可能です。

詳細は愛臨技HPにてご確認ください。

### メールアドレス登録と受信設定のお願い

毎月会報『らばニュース』Web版発行のお知らせを日臨技会員システムに登録されたアドレス宛にメール配信しています。その他、重要な情報提供、お知らせなどもメール配信させていただきます。会員の皆様には登録メールアドレスの確認と、変更がありましたら日臨技会員専用ページにて変更手続きをお願いします。また、迷惑メール防止の受信設定をされている方は、下記のメールアドレスからの受信ができるよう、設定をお願いします。ご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

[jamt\\_pref23@sys.jamt.or.jp](mailto:jamt_pref23@sys.jamt.or.jp)

# 研究会

愛臨技会員：無料  
日臨技非会員：2,000円(消費税10%含む)  
県外会員：500円(消費税10%含む)

## 血液研究班

専門教科：20点(レポートを提出した者に限る)

閲覧期間：5月16日(土)~30日(土)

参加方法：日臨技 HP から事前登録

4月1日(水)~5月8日(金)

※視聴方法は後日メールにて配信

定員：なし

レポート締切：6月5日(金)

開催方法：オンデマンド配信

テーマ：症例検討会

講師：

1. 「症例1」 藤田医科大学病院 水谷 有希
2. 「症例2」 公立陶生病院 武村 友貴
3. 「症例3」 愛知医科大学病院 鈴木 崇峰

内容：事前に配信する3症例の血液像および骨髓像の標本観察動画から疾患を推測していただきます。その後に配信する本編動画ではそれぞれの疾患の形態学的特徴や標本所見、細胞表面抗原解析や染色体遺伝子検査を踏まえての診断や類似疾患との鑑別点について解説します。

## 病理細胞検査研究班

専門教科：20点

日時：5月16日(土) 15:00~17:00

参加方法：日臨技 HP から事前登録

4月1日(水)~5月15日(金)

定員：60名

開催方法：現地開催

場所：アーバンネット名古屋ビル20F

リップルスクエア

テーマ：凍結切片作製法

講師：

1. 凍結切片作製法(総論)とアンケート調査報告  
修文大学 橋本 克訓
2. 凍結切片作製の実際(当院の事例紹介1)  
日赤愛知医療センター名古屋第二病院 新田 憲司
3. 凍結切片作製の実際(当院の事例紹介2)  
小牧市民病院 岩田 晃裕

司会：名古屋市立大学病院 松井 竜三

内容：凍結切片は術中迅速病理診断や免疫組織化学的染色に用いられます。特に頻度の高い、術中迅速病理診断では、標本作製の正確性とともにも迅速性も要求されます。検体の受領、凍結包埋、薄切、固定、迅速 HE 染色、病理診断、報告までの工程も施設により様々だと思われま。凍結切片作製法に関するアンケート調査(研究班の班員施設を対象)の報告を行った後、凍結切片作製法の事例紹介を、2つの施設の技師に紹介していただきます。講演後に凍結切片作製に関する情報交換する時間を設けます。皆様の施設における業務改善の参考になれば幸いです。

\*事前参加登録無しでの当日参加も可能ですが、定員に達した場合は事前登録者優先となり、当日参加をお断りする場合がございます。

## 会員執筆物の紹介原稿募集します！

会員の業績紹介の一つの方法として、らぼニュースにて論文、書籍執筆(分担執筆を含む)などの紹介掲載を受け付けます。自薦・他薦は問いません。

掲載を希望される方は愛臨技 HP【会員サイト】(各種手続き)に申請書、手続き方法を掲載してありますのでご覧いただき、お申し込みください。



愛臨技 HP